

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(こぶしの里運営)
こいけ ようへい
小池 陽平

㊤ 3月から協力隊に着任した小池さん。協力隊着任までの経緯と現在の仕事について教えてください。

㊤ こぶしの里がリニューアルオープンすることに伴い、指定管理としてこぶしの里を(株)FoundingBaseが運営をさせていただくことになりました。(株)FoundingBaseに所属していた私が、現在は協力隊としてこぶしの里の管理をしています。

こぶしの里では主にレストランのメニュー開発や、施設サービスの改善などを行っています。私自身が調理師免許を持っているわけではないので、パートさんやメンバー、厨房の方と一緒にメニュー開発を行っています。施設サービスの改善では、お客さんのニーズを考え協議しています。

㊤ 任命期間中の3年間でやりたいことはありますか？

㊤ 地域と連携したイベントの誘致ができればと考えています。当初は施設にこもって再開に向けての準備などをしていましたが、最近は地域の会合や地域の夏祭りの委員に参加させていただいています。参加していくなかで、こぶしの里を宿泊、温泉施設としての運営だけでなく、地域事業者と連携してのイベントや催し物など、地域活性化の場となれるような施設の活用をめざしていきたいと考えています。



メニュー開発にあたり協議を行う小池さん

㊤ 黒潮町の印象は？

㊤ 港町だなと感じました。前に住んでいた場所が島だったので、海のきれいさは知っていましたが、砂浜ときれいな水平線を見て、「いい景色が見れたな」と思っています。

協力隊から一言！

近隣住民の方だけでなく、黒潮町や他県の方が楽しめるようなイベントの誘致や、観光スポットになれるような施設づくりをめざしていきたいと思っています。

Kramer's Corner クレームのコーナー



今月のテーマ 黒潮町の思い出

もう7月に入り、今年は本当に早く過ぎているように感じます。すでに知っている人もいると思いますが、僕は今年の夏で国際交流員の仕事を終了します。今月を含めて、クレームのコーナーはあと2回だけなので、今回は僕が撮った黒潮町のお気に入りの写真とその思い出を紹介したいと思います。

僕の趣味の1つは写真撮影。4年前は、引っ越してきたばかりの黒潮町の写真を撮りによく出かけました。そのような秋のある日、目を引いたのは見たこともなかった不思議な小さい紫の花。周りに落ちていた金色の銀杏の葉に引き立てられ、歩道のはしっこでさりげなく咲いていました。後でこの花はヒメツルソバと呼ばれることを知りました。日本ではありふれたものだと思うけど、初めて見た僕にとってはまるで宝物を見つけたような気持ちでした。

2枚目の紹介したい写真は夕暮れの加茂八幡宮の参道。僕の住まいは入野なので、入野松原を自転車で走ったり、散歩したりすることが多いです。松原の中にある加茂八幡宮もよく訪れ、一番好きな時間は夕方、日没直後です。静かで神秘的、見下ろしてくる松の間に立つと、そこに宿る神にも見られているようです。

そして最後に、入野の浜で撮った初日の出です。流木の上に座り、波の音を聴きながら、太陽が雲から顔を出すのを待っていたのをよく覚えています。毎日そばで生活していると当たり前のものと思ってしまうがちですが、花も松原も砂浜もすべてこの町の宝物です。みんなで大事にしましょう！

来月は最後のクレームのコーナーをお届けします。ぜひご覧ください！



① ヒメツルソバ
② 加茂八幡宮の夕暮れ
③ 入野の浜の初日の出

今月の使える！英語

ア ピクチャー イズ ワース ア サウザンド ワーズ
A picture is worth a thousand words

A picture is worth a thousand words: 直訳すると「1枚の絵は1,000の言葉に値する」という意味。日本語で言えば、「百聞は一見にしかず」のことわざに相当します。

